

こんにちは



市議会でゆうことゆうよ！永井ゆう

日本共産党
市議会議員

NAGAI YU
永井 佑

市議会報告

若者の声を届けて本会議質問

みなさんから寄せられた声をもとに、9月議会でも学生支援を中心に一般質問を行いました。

食料支援の会場でアンケート



6月から、市内で5回の食料支援に参加し、民青同盟と一緒に学生への聞き取りを行い、約300人のアンケートを集めました。



「親も大変で仕送りを頼めない」という学生の声に象徴されるように、家庭の貧困、取り巻く状況によって学生が困窮しています。駅前宣伝では、「政治を変えて日本の高額な学費について下げましょう」と訴えると、子を持つ親世代が大きくなずき、チラシを受け取るなど、今までにない反応だと感じています。

学生支援で市へ申し入れ

8月18日には、学生とともに市に対して申し入れを行い、アンケート結果を添えて実態を市長に届けました。対応した副市長からは「学生へ何が出来るか考えたい」と支援する姿勢が示されました。



願い実現

6月議会で「不妊治療助成制度」を周知するリーフレット作成など求めていました。病院や区役所等で案内されて、わかりやすいと好評です。



公式SNS更新中



もっと市独自の支援を

議会質問では、東京都の三鷹市の学生支援の取り組みである「デリバリー三鷹」を紹介。

コロナ禍で影響を受ける市内飲食店の応援と学生の就労支援を結び付けています。北九州市も参考に、自治体独自支援を求めました。

コロナ禍で困窮する学生へ5万円を支給する北九州市独自の応援給付金について、再支給を求めるとともに、学生への食料支援団体の情報提供に関して、応援給付金をもらっている学生には支援団体の情報を紹介すべきと追及しました。

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2021.11.1
No.564

発行 日本共産党北九州市会議員団 北九州市小倉北区城内1-1 TEL (093) 582-2646・FAX (093) 582-4113

日本共産党北九州市議団 <http://www.jcp-kitakyu.jp/>

『いのちとくらし第一』

日本共産党北九州市議団は10月18日、北九州はもちろん、日本と世界が直面するテーマを561項目（うち重点項目26項目）にまとめ、2022年度に向けた予算提案として、北橋健治市長に手渡しました。

北橋市長は「これからの予算編成、政策立案にあたって、今日の提案をよく検討させていただきたい」と答え、率直な意見交換を行いました。

歩道に“穴”。路面標示が消えている 安心して通える通学路を

通学路 対策

「歩道に穴が開いていた」「路面の表示が消えかかっている」。市議団と新婦人、福建労などをつくる「公共施設を良くする会」が行った「通学路の危険度チェック」で様々な問題が明らかになりました。



通学路の危険箇所を調査する大石議員（左）

今年6月に千葉県・八街市で起きた事故を受けて行った市教育委員会との懇談では、「以前からの要望事項がなかなか改善しない」「事故が起きてからでは遅い」などの声と、具体的な改善要望が相次ぎました。

区域区分見直し 怒号飛び交う市主催の説明会 “賛成している議員はいるのか、”



怒りや不安の声があがった市説明会

「だれが見直しを決めたのか」「賛成している議員はいるのか」「区域区分見直しの線引の基準は何か」。市内各地で進められている北九州市による「区域区分見直し」説明会。

賛成の声はまったくなく、どの会場も怒号が飛び交い、「区域区分見直し」撤回などを求める声が大きく広がっています。

反対の声が圧倒的にもかかわらず、市は「区域区分見直し」を撤回する気配もなし。市内部からは「絶対にやりとげろ」という指令が出ている、との声も聞こえてきます。

市民を置き去りにする「区域区分の見直し」。地域やまちはだれのものなのか。この問題が問いかけているのは、市政のあり方そのものです。

※斜面地の市街化区域を、新たな建築ができない市街化調整区域に変更する「区域区分の見直し」。北九州市による全国初めての取り組みです。



コロナ、気候危機、消費税引き下げ、区域区分見直し撤回を
市民の願い 市長に届ける

北橋健治市長（前列左）に予算提案書を
手渡す荒川徹団長（前列右）

日本共産党の緊急対策の柱

「原則自宅療養」方針の撤回と臨時の医療施設の設置

ワクチンの迅速接種とワンセットでPCR大規模検査の実施

医療機関への速やかな減収補填

中小業者、非正規、フリーランス、文化・芸術、生活困窮者への十分な補償

データが語る 北九州市の保健・医療体制

保健所数	7（95年）→1（96年）
保健所職員数	300人余（89年） →100人余（19年）
市立病院数	5（02年）→直接経営は0（19年、民間譲渡、指定管理者制度の導入、独立行政法人化などによる）

◆北九州市議団 14回の申入れ
北九州市でも5カ所あった市立病院は民間委託、独立行政法人化

新型コロナウイルス新規感染者数は減少しているものの、ブレークスルー感染、新たな変異株の出現など、いまだに予断を許さない状況です。日本共産党は、コロナの全国的な急拡大・医療崩壊には「40年来的医療・公衆衛生の切り捨て政治がある」ことを指摘。実際に自公政権は全国の公立・公的病院のうち、400カ所あまりを統廃合しようとしています。

事実上ゼロに。7カ所あった保健所は1カ所に減らされ、公衆衛生も大きく後退しました。

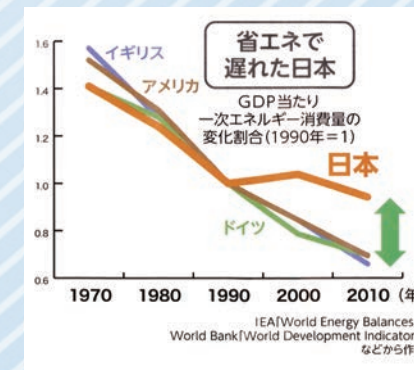
党市議団は、今回の予算提案を含め、これまで14回にわたって、コロナ対策強化を申し入れ、①臨時の医療施設の設置②保健所の増設、医療体制の強化・充実③事業者支援と国保減免、生活困窮者支援の強化などを要望。9月議会では、小・中学校、特別支援学校でのPCR等検査の実施、保育所、高齢者施設での無料の簡易キットの配布などを実現しました。一方、市議団が提出した「臨時医療施設の設置及び保健所の強化・増設を求める意見書」に、自民、公明、ハートフル北九州、自民の会、日本維新の会などが反対しました。

コロナ 対策

「コロナ」からいのちを守れ



JR黒崎駅前、環境問題クイズに答える
通行人の方（左は永井議員）



「気候危機を打開する日本共産党2030戦略」資料より抜粋

地球が危ない いっしょに考え、行動しませんか

気候危機 打開へ

世界各地で起る異常豪雨、台風、森林火災……。九州でも豪雨被害が毎年のように続いています。最大の要因は、温室効果ガス（その大半はCO₂）の排出による世界の平均気温の急上昇です。危機打開のため世界は、2050年のCO₂排出ゼロに向け、当面、重要な

2030年までの「省エネ、再エネ」に正面から挑戦しています。しかし日本は省エネで遅れを取り、再エネの活用も中国よりも低いのが実態です。

市議団は9月議会でも、SDGs未来都市の市長として国に先駆けて温室効果ガス排出削減目標のさらなる引き上げを要望。2030年までに温室効果ガスの50%以上の削減を求める意見書を提出しましたが、残念ながら、自民、公明、

ハートフル北九州、維新の会の反対で採択されませんでした。市議団は気候危機打開にむけ、

省エネ、再エネを中心とした北九州市エネルギー基本条例の制定を求めています。

住民不在

ちょっとおかしいぞ

なぜ？

どうして？



済生会八幡総合病院移転

医療施設なのに「その他」で開発許可？

済生会八幡総合病院（八幡東区）が、八幡西区則松へ移転する計画をすすめています。



済生会八幡病院の移転予定地

ところが予定地は「市街化調整区域」であり、「津波災害警戒区域」です。大雨によって病院建設予定地が田んぼのように（写真）。また、市街化調整区域の開発行為に認められる条件の審査基準が「病院施設」ではなく「その他」で許可されており、地元の複数の病院が反発。不透明な審査のあり方が問題になっています。

公立の4つの幼稚園を全廃！！

6年前の約束に違反

市は今年7月、わずかに残された4つの公立幼稚園について、2024年度末までに全園を廃止する、との方針を打ち出しました。公立の幼稚園はすべて廃止されることになります。2015年の8園の廃止議案に際して、「半数の4園は必要であるとの結論に達した」と、4園の存続を約束。しかし今回の廃止方針は、その約束に違反したもので「教育委員会の責務」の投げ捨てにほかなりません。



廃止が検討されている小倉南幼稚園

中央興産が経営破たん

問われる指定管理者制度！！



旧古河鉱業若松ビル

市は、旧古河鉱業若松ビル（若松区）の指定管理者である中央興産(株)が経営破綻したため、指定を取り消しました。指定管理者制度とは、公の施設の管理・運営を民間企業などに代行させるもので、指定管理者が破綻したのは市内では初めてのことです。日本共産党は、営利を目的とする民間企業の指定について、サービスの低下や従事者の解雇、労働条件の大幅切り下げなど、不安定雇用を助長するとして反対してきました。

高潮4m浸水区域に区役所建設

やっぱり疑問

市は門司港地域の JR 九州の土地に、区役所、図書館、ホール、生涯学習センターなどの公共施設を1カ所に集める複合施設の建設を強行しようとしています。建設予定地の門司港駅付近は高潮による4mの浸水区域です。市は災害時の対応として、「水が引いてから対応する」と答弁してきましたが、災害時の重要拠点となる区役所を災害の想定地域に建設すること自体、大きな問題です。



門司区役所の建設予定地を視察する高橋市議

9月議会

意見書・決議に対する 会派賛否表

	提出 会派	日本共産党	自民党	公明党	ハートフル 北九州	自民の会	日本維新 の会	結果
	議員数	8	13	13	11	5	3	
中小企業者を淘汰するインボイス制度の実施中止を求める意見書	日本共産党	○	×	×	×	×	×	否決
臨時医療施設の設置及び保健所の強化・増設を求める意見書	日本共産党	○	×	×	×	×	×	否決
世界的な気候危機打開へ 2030年度までに温室効果ガスの50%以上の削減を求める意見書	日本共産党	○	×	×	×	×	×	否決
市民のいのちと暮らしを優先するため 「2021世界体操・新体操選手権北九州大会」の中止を求める決議	日本共産党	○	×	×	×	×	×	否決

※主要会派以外の態度は略